

事業報告書（令和5年度）

事業名 手紡ぎの会ふわふわ

団体名 手紡ぎの会ふわふわ 担当者名 サチダナンド世志花

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

5月17日 綿の定植(栽培) 参加者8名 於：自然農園コスモファーム



6月18, 19日 綿栽培、草刈作業
学習者7名参加
於：自然農園コスモファーム



6月28日 定例会、紡ぎの会（綿、羊毛） 学習者6名 於：自然農園コスモファーム



7月27日 定例会、紡ぎの会（綿、羊毛） 学習者8名 於：下竹荘公民館

8月2, 3日 SDGs フェア 綿紡ぎの紹介と展示、紡ぎ体験会とデモンストレーション
於：岡山コンベンションセンター



(様式第8号)

8月16日定例会、紡ぎの会（綿、羊毛）羊毛の手入れ洗い 学習者3名 於：下竹荘公民館

9月28日 染色ワークショップ 学習者6名 講師 三好真裕 於：下竹荘公民館

10月4日 紡ぎの会（綿、羊毛）

染色ワークショップ 学習者5名

講師 三好真裕 於：下竹荘公民館



10月11日 10:00~13:00 羊毛紡ぎの会

自習学習者2名 於：下竹荘公民館



10月17日 9:30~ 定例会、糸紡ぎ 学習者7名 講師 三好真裕 於：豊野公民館



11月1日 紡ぎの会（綿、羊毛）糸紡ぎ自習 学習者4名 於：豊野公民館

11月7~11日 岡山手紡ぎの展覧会 開催、出展



11月15日 定例会、綿収穫、綿繰り作業 学習者3名

於：自然農園コスモファーム



(様式第8号)

11月30日 紡ぎの会（綿、羊毛）染色ワークショップ 学習者4名 於：豊野公民館

12月11日 定例会 学習者3名



12月14日 羊毛から手作りでフェルトの帽子を作るワークショップ

講師 三好真裕 参加者11名 於：豊野公民館



12月25日 機織り講習会 講師 榎平玲子



1月13日 綿繰り体験、糸紡ぎデモンストレーション 体験者5名 於：カフェ陶

1月17日 定例会、綿収穫、綿繰り 講師 三好真裕 参加者4名 於：豊野公民館

2月21日 羊毛フェルトワークショップ 参加者7名

講師 三好真裕 於：豊野公民館

2. ESDの視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

衣食住に必要なものをどのように自分の手で手作りして行けるか、昔の人の暮らしから学ぶこと、自然や地域資源を大切に有効利用しながら豊かに生きていく暮らしの提案、が本事業の目標です。

地元の自然資源である羊毛を利用して刈り取ったままの羊毛を洗うところからの体験を行いました。材料を時間をかけて洗い、乾かし、染色し、縮まないようなくふうの加工を学び、それからやっと紡いで糸にしました。

多くの工程を経て紡いだ毛糸を編んだり織物にし、実際に着たり身に着けたりする物品（作品）に仕上げました。技術的な学びも大きかったうえに、手作りの楽しさや作品を仕上げた喜びを体験しました。講座をつうじて自然のすばらしさやありがたさ、感謝の思いが芽

<p>生えました。使い捨て消費文化を反省し家庭からの見直しの精神をはぐくみました。</p>
<p>② どのように学び合いを取り入れたか</p>
<p>地元の専門家を講師に、ワークショップ形式で行いました。 体験すること、実際に制作すること、質疑応答形式の講義学習で理解が深まりました。</p>
<p>③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p>
<p>主催者があらかじめ準備し、完成形を提示する工夫を行いました。 主催者が参加者への丁寧なプレゼンを毎回行いました。 また、参加者の主催型の発表の場、展示会を行いました。 友人関係の集まりに作品（啓蒙として）を提示したり、デモンストレーションを行い、自分たちの活動を（講座参加者が）第三者に伝えることが、実践のフィードバックになりました。</p>
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p>
<p>本会の目標の一つである、伝統農芸の人材育成も大きな目標の一つであります。</p> <p>2. ①で記した達成に加えて、二年目の本会に継続参加する者の技術向上が目を見張る一年となりました。</p> <p>地道に時間がかかる、スローライフの提唱のような活動ですが、地元コアな仲間が増え、地域にも徐々に認知されて魅力ある田舎の暮らしのイメージアップにも貢献できました。</p>
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p>
<p>ますます社会の状況は、過疎が進み、隣近所との交流もつながりが薄れ、中山間地では高齢化で希望の見えない現実が広がります。そのような中で、田舎の暮らしが憧れになる生き方のモデルのようなコミュニティを目指しています。</p> <p>地域資源の有効利用や、自然な農業で生産を豊かに循環し、幸せに生きていく精神的な活動の継続が持続可能な社会づくりの継続に大切だと思っています。</p> <p>それを手仕事をつうじて活動していきます。</p> <p>二年で培った基盤を更に強固に、</p> <p>① 井戸端ステーションとしての仲間づくり、心の拠り所的な居場所づくり ② 昔ながらの伝統農芸から学ぶ糸紡ぎ、染色、織仕事の技術向上と人材育成と文化の伝承 ③ 外国人や障がい者、近所の高齢者が集えるキャパシティーを手仕事や農作業をつうじて描いていく ④ 地域資源、自給自足作物を有効利用した地場産業の向上を目指した作品作り</p>

(様式第8号)

- ⑤ 参加者が講師として技術指導、伝承、啓蒙活動できるように人材育成
今年度は、盛りだくさんの充実した学習会が、多い頻度で開催することができました。
しかし、当初計画しておりました映画上映会は、日程やカリキュラムの都合上、開催することができませんでした。来年度の繰り越しし、上映会を開催します。
本事業の目標を年度内に達成することができましたので、ご報告させていただきます。
ありがとうございました。